

教育事務所	氏名	年令	職名	勤務先	住所
北会	熊倉 光瑞	33	社会教育主事	猪苗代町教育委員会	耶麻郡猪苗代町大字三郷字館の内3291の1
耶麻	新井 剛	52	公民館長	喜多方市公民館	喜多方市豊川町上高額
両沼	杉原 秀男	32	公民館主事	会津高田町中央公民館	河沼郡会津高田町大字永中野字中町1856
西白	穂積 勇蔵	42	社会教育主事	表郷村教育委員会	西白河郡表郷村番沢
東白	鈴木 一	42	公民館主事	鮫川公民館	東白川郡鮫川村赤坂中野新館53
石川	渡辺 幹男	44	公民館長	古殿町公民館	東白川郡古殿町大字松川字横川 177
田村	佐藤 春雄	39	社会教育主事	船引町教育委員会	田村郡滝根町大字菅谷沖田399
いわき	石川 佐中	49	社会教育主事	いわき市教育委員会	いわき市小名浜町下神白字館腰 3の6
双葉	吉田農夫雄	57	公民館長	大熊町公民館	双葉郡大熊町大字下野上
相馬	宝玉 義信	49	公民館長	原町市公民館	原町市江井字堀内前27
北会	渡部 宏	44	社会教育課長	会津若松市教育委員会	会津若松市南町北川原丁104
田村	渡辺 利雄	64	公民館長	三春町公民館	田村郡三春町南町54
いわき	園井 一美	41	公民館長	いわき市湯本公民館	いわき市湯本
郡山	和知 謙	47	社会教育主事	県教育庁郡山教育事務所	郡山市虎丸町 135

(3) 事業内容

① 調査

青年学級における施設設備の状況調査

② 研究協議（年4回）

- ア. 青年学級における施設設備の基準についての研究
- イ. 青年学級におけるプロジェクト研究の基準についての研究
- ウ. 都市における青年教育の形態、方法等についての研究

③ 助言指導

方部郡別青年学級研究会および市町村青年学級の助言指導にあたった。

④ 資料作成

研究協議のまとめ「青年学級の充実のために」を作成

(4) 効果

上記のア、イ、ウについて委員を班別し、協議を重ね資料を集めながら、研究を深めた。現行制度での改善方策と、こうありたいとする抜本的構想をまとめることのできたのは、大いなる収穫であり、この資料を全県に広布し、本県勤労青年教育振興の資としたい。

11 青少年指導員の設置

(1) 趣旨

青少年教育の充実振興をはかるため、市町村における青少年教育の企画立案、実際指導ならびに青少年団体の健全育成の指導にあたり、もって本県青少年教育の振興に資す

る。

(2) 任務

青少年教育指導員は市町村教育委員会、公民館、社会教育団体の求めに応じ、つきにかける事項について必要に応じ指導助言にあたる。

- ① 青少年団体の運営および活動に関する こと。
- ② 青少年の学習活動に関する こと。
- ③ その他青少年教育の振興に関する こと。

(3) 昭和42年度青少年教育指導員

教育事務所	氏名	住所
信夫	高橋 定	福島市飯坂町字十綱町9
伊達	山際健次郎	伊達郡梁川町
安達	原瀬 宗彦	安達郡本宮町荒町19
郡山	菊地賢太郎	郡山市虎丸町24の5
岩瀬	小野 三郎	須賀川市上北町84
南会	二宮 佐吉	南会津郡下郷町大字大松川字大座相2912
北耶	秋月 鏡観	会津若松市日新町16~33
耶麻	山口 彰一	耶麻郡熱塩加納村
両沼	斎藤 洋一	河沼郡会津坂下町青木
西白	塩田 恂	西白河郡中島村大字吉岡字迎久保46
東白	二階堂 馨	東白川郡矢祭町
石川	穂積 安光	石川郡石川町新町25
田村	三坂 哲元	田村郡大越町大字上大越字蟹沢32
いわき	水野 順平	いわき市泉町泉 198
双葉	渡部 正義	双葉郡双葉町大字長塚字町西 1
相馬	島 義重	相馬市山上須萱

(4) 効果

青年団体、青年学級、子ども会等の助言指導にあたり、地域青少年教育の推進にあたり、本年度は6ヵ月間であったが、次年度はその効果を期待したい。

第3節 成人（婦人）教育

1 概況

本年度は、成人学校の普及と高令者学級の充実、婦人学級の拡充、高等学校開放講座の充実と社会通信教育の普及、PTAおよび婦人団体の指導者の養成、健全な活動の助長に重点をおいて推進してきた。

成人学校（学級）高令者学級の普及・充実については学級講座研究会をとおして、その企画運営等について具体的研究をおこない、婦人学級については文部省委嘱、県実験婦人学級を拠点としてその充実、普及をはかり婦人学級生大会をとおし、年内の反省と今後の課題について検討してきた。高等学校開放講座については県下5高校に開設を委嘱し、施設を地域住民に開放し、社会通信教育についてはいわき市において研究会を開催し、共同学習班の育成をはかり普及・充実につとめてきた。またPTA、婦人団体については、研究会や指導者講習会を中核として、団体の民主的運営、指導者の役割等を身につけるべく指導者の養成に努めてきた。さらに一般行政との密接な連携、団体相互の連絡提携などにより、各種の条件整備をはかってきた。

2 学級・講座研究会

(1) 趣旨